

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 NANO MRNA株式会社 上場取引所 東
コード番号 4571 URL https://www.nanomrna.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 秋永 士朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0コーポレート本部長 (氏名) 藤本 浩治 TEL (03)6432-4793
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	104	△26.6	△687	-	△663	-	△737	-
2023年3月期第3四半期	142	-	△1,092	-	△1,019	-	△999	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △837百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △1,218百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△10.50	-
2023年3月期第3四半期	△14.26	-

(注) 当社は、2022年3月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,169	3,476	67.0
2023年3月期	5,784	4,253	73.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,461百万円 2023年3月期 4,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135	△33.2	△979	-	△883	-	△945	-	△13.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有
連結業績予想の修正については、本日(2024年2月14日)公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	70,393,158株	2023年3月期	70,151,558株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	11,428株	2023年3月期	11,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	70,266,641株	2023年3月期3Q	70,076,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年1月より事業モデルを転換し、mRNA医薬候補及びそれに関する知的財産（IP）を創製し、製薬企業にライセンスアウトすることを柱とした事業を進めております。当第3四半期連結会計期間においては、当社研究開発の執行体制を充実させるとともに、アクセリード株式会社及び傘下企業、並びに株式会社IPガイアとの協業のもと、複数のパイプラインをインキュベート、また既存パイプラインの研究開発推進、及びその他の事業活動に取り組んでまいりました。

(mRNA医薬パイプライン)

mRNA医薬は、2023年のノーベル生理学・医学賞を受賞した技術であり、新たなモダリティとして感染症予防ワクチン、がん治療ワクチン、遺伝性疾患治療薬、また組織再生医薬などのCOVID-19ワクチン以外の領域においても臨床POCが得られてきています。当社は、感染症予防ワクチン以外では国内初とも言える、変形性膝関節症に対するmRNAによる組織再生医薬の開発にいち早く着手し、医師主導治験の開始に向けた準備を進めております。また、花王株式会社との包括共同研究契約を締結し、免疫寛容ワクチンの共同研究を開始いたしました。今後、さまざまなパートナーとの共同研究開発などにより、パイプラインの拡充を図り、企業及びアカデミア等との共同研究開発を推進し、パイプラインの拡充を図り、製薬企業等へ創製したIPのライセンスアウトを進めてまいります。

RUNX1 mRNA : アクセリード株式会社と共同で設立した株式会社PrimRNAにおいて、変形性膝関節症患者を対象とした医師主導第I相臨床試験に向け、規制当局との相談を進めております。

RUNX1のmRNAは、軟骨の増殖・分化に関わる転写因子のmRNA医薬品で、変形性膝関節症の進行抑制及び疼痛の軽減を実現する革新的な疾患修飾型治療薬となり得るものです。なお、本プロジェクトは、AMEDの医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）に採択されております。

免疫寛容ワクチン : 花王株式会社が独自開発した免疫制御技術を用いて共同で実施した研究成果に基づき、2023年11月、mRNA医薬品の創薬に向けた包括共同研究契約を締結いたしました。共同研究では、アレルギー疾患をはじめ数多くある免疫疾患を対象に治療ワクチンの研究から、順次、候補品を創出し、グローバル企業へライセンスアウトすることを目指しております。

感染症予防ワクチン : 名古屋大学発ベンチャーCrafton Biotechnology株式会社が研究代表機関となり、AMED先進的研究開発戦略センター（SCARDA）事業に採択された感染症mRNAワクチンの研究開発が進められております。本研究開発は、RNA創薬に欠かせないcap化技術に日本発の新しい技術を適応したものです。当社は次世代バイオ医薬品製造技術研究組合（MAB組合、神戸）などとともに分担研究機関として参画し、非臨床試験及び臨床試験を担当いたします。

(mRNA医薬以外のパイプライン)

mRNA医薬以外のパイプラインの開発も継続して行っております。

TUG1 ASO : 脳腫瘍の中で最も悪性度が高い膠芽腫を対象とするTUG1ASOの医師主導第I相臨床試験が開始され、2024年2月に第1例目の投与が行われました。

TUG1は、長鎖非翻訳RNA TUG1に対するASO（アンチセンスオリゴ核酸）のDDS製剤であり、名古屋大学を中心として、AMEDの革新的がん医療実用化研究事業に2期連続で採択されております。当社は、分担研究機関として治療薬の供給及び薬物動態解析などを行ってまいります。

なお、2023年8月に本課題の基盤となる2件の特許について、再実施許諾権（サブライセンス権）付独占ライセンス権を獲得し、導出活動を開始しております。

NC-6100 : 公益財団法人がん研究会有明病院において、医師主導第I相臨床試験が実施されております。高用量コホートまで試験が進捗しており、薬物動態解析を進めております。NC-6100は、慶應義塾大学等との共同開発プロジェクトであり、転写因子PRDM14に対するsiRNAのDDS製剤です。

上記の他、コムレクス®耳科用液1.5%（開発コードENT103）は、2023年6月からセオリアファーマにより販売されております。

(販売事業の状況)

株式会社アルピオンが販売する美容液エクラフチュール及び薬用美白美容液エクシア ブライトニング イマキユレート セラム用の当社技術を応用した原材料を供給しております。

また、株式会社エイオンインターナショナルとの契約に基づき、PRP療法を用いた不妊治療をサポートしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、化粧品材料供給収入、ライセンス収入及び共同研究開発契約収入等により104,308千円（前年同期比26.6%減）、営業損失は687,380千円（前年同期営業損失1,092,726千円）、経常損失は663,948千円（前年同期経常損失1,019,717千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は737,456千円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失999,292千円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におきまして、以下の営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上しております。

- ・外国為替相場の変動による為替差益22,112千円を営業外収益に計上しております。これは主に、当社の保有する外貨建預金の評価替えにより発生したものであります。
- ・第21回新株予約権の発行に伴う、新株予約権発行費9,950千円を営業外費用に計上しております。
- ・本店移転に伴う建物附属設備の減損処理を行ったこと等により、減損損失70,704千円を特別損失に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ615,346千円減少し、5,169,044千円となりました。負債は、主に流動負債の「その他」に含まれる前受金や預り金の増加等により、前連結会計年度末に比べ161,364千円増加し、1,692,311千円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ776,710千円減少し、3,476,732千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、第2四半期までの実績をもとに通期着地見込みを精査した結果、業績予想の修正が必要と判断したため、前回発表した業績予想を修正いたしました。

当社はビジネスモデルを転換し、mRNA医薬のIPジェネレーターとしてシーズの探索及び研究開発を推進しておりますが、全く新しいビジネスモデルであることもあり、当該事業に係る研究開発費を積極的に見積り、当初のレンジ予想値（816百万円～1,150百万円）として公表しておりました。この度、各プロジェクトの研究開発費の通期見込みを精査し分析を行った結果、当初のレンジ予想値の下限値を下回る見込みであることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ当初のレンジ予想値を上回ることとなります。

詳細については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

なお、第28期の研究開発費は、758百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,811,624	3,027,097
受取手形及び売掛金	35,970	57,114
有価証券	1,632,079	1,400,588
原材料及び貯蔵品	648	3,021
その他	188,503	144,738
流動資産合計	4,668,826	4,632,560
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	149	0
投資その他の資産		
投資有価証券	886,168	280,006
その他	229,246	256,476
投資その他の資産合計	1,115,414	536,483
固定資産合計	1,115,564	536,483
資産合計	5,784,390	5,169,044
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,183	—
未払法人税等	5,544	9,445
その他	352,373	507,841
流動負債合計	364,101	517,286
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,108,916	1,108,916
繰延税金負債	9,488	11,747
資産除去債務	25,997	31,917
その他	22,444	22,444
固定負債合計	1,166,846	1,175,025
負債合計	1,530,947	1,692,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,150	142,465
資本剰余金	5,499,591	5,522,905
利益剰余金	△1,371,505	△2,108,961
自己株式	△27	△27
株主資本合計	4,247,209	3,556,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,180	△95,381
その他の包括利益累計額合計	4,180	△95,381
新株予約権	2,052	15,732
純資産合計	4,253,443	3,476,732
負債純資産合計	5,784,390	5,169,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	142,111	104,308
売上原価	28,137	17,326
売上総利益	113,974	86,982
販売費及び一般管理費	1,206,700	774,363
営業損失(△)	△1,092,726	△687,380
営業外収益		
受取利息	18,439	12,379
為替差益	56,606	22,112
雑収入	858	38
営業外収益合計	75,904	34,530
営業外費用		
新株予約権発行費	—	9,950
株式交付費	469	173
雑損失	2,425	974
営業外費用合計	2,895	11,097
経常損失(△)	△1,019,717	△663,948
特別利益		
固定資産売却益	4,531	1,351
新株予約権戻入益	27,493	—
特別利益合計	32,025	1,351
特別損失		
固定資産除売却損	50	2
減損損失	6,912	70,704
特別損失合計	6,962	70,707
税金等調整前四半期純損失(△)	△994,654	△733,304
法人税、住民税及び事業税	4,638	4,151
法人税等合計	4,638	4,151
四半期純損失(△)	△999,292	△737,456
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△999,292	△737,456

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△999,292	△737,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219,229	△99,562
その他の包括利益合計	△219,229	△99,562
四半期包括利益	△1,218,522	△837,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,218,522	△837,018
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報入手に伴い、見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額2,995千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、見積りの変更に伴って計上した有形固定資産は、計上と同時にその全額を減損損失として処理しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品等の研究開発及び製造販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。